

News Release

Contact: マーケティング & コミュニケーション部
田中裕子
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ
www.russell.com

発信日: 2011年10月19日

ラッセル、グローバル・スタビリティ・インデックスを発表 ーグローバル投資家に新たな投資スタイルを提案ー

(2011年10月19日、東京＝ラッセル) マルチファクター・スタイルで定義した投資スタイル概念を開発したラッセル・インベストメント(本社:米国ワシントン州シアトル市)は、本年2月に米国株インデックスに導入したディフェンシブ/ダイナミック・インデックスを、このたび一万以上の銘柄からなる同社のグローバル株インデックスにも導入することを発表しました。

ラッセルのインデックス部門の調査・研究担当ディレクター、ロルフ・アガサーは、「ラッセルは、弊社が開発した新しい手法をより広範囲の株式や市場に採用したいという投資家のニーズに応えるべく、ディフェンシブ/ダイナミック・インデックスの対象を拡大しました。市場が大きく変動する状況下、投資家はリスクをこれまで以上に警戒する一方、長期的な値上がり益を求めています。運用会社調査および資本市場調査で培った知見を背景に、弊社は、さまざまなタイプのグローバル投資家が市場のサイクルを超えて長期的にポートフォリオの状態を改善させるための新たなアプローチを認識するに至りました」と述べました。

ラッセルのインデックス部門は、世界で初めて時価総額をベースとした規模別のインデックスを開発し、その後、成長株/割安株というマルチファクターをベースにしたインデックスの提供を始めるなど、インデックス分野の発展に主導的な役割を果たしてきました。本年、これらの伝統的な投資スタイルに加えて、企業を「クオリティ」と「ボラティリティ」という観点から評価するスタビリティ・インデックス・シリーズを導入しました。

このスタビリティ・インデックスでは、株式市場をスタビリティという観点から二つに分け、より安定性が高いとされる半分を「ディフェンシブ」、安定性に乏しい半分を「ダイナミック」と呼んでいます。また、ラッセル・グローバル・ディフェンシブ/ダイナミック・インデックスは、ラッセル・グローバル株インデックスと同様のグローバル比較方式の構成方法を採用しています。投資家がグローバル市場に、昨今どのようにアプローチしているかを反映し、株式のセクターやスタイルは、国単位よりも、地域単位でランク付けられています。その結果、投資サイクルの範囲を超えて、広範囲の市場に投資するよりも、より小さなリスクで魅力的なリターンを実現する可能性を持った新たなグローバルベンチマークを開発することができました。

インデックス ストラテジー ディレクター、小原沢則之は「世界および日本経済の先行き不安から、2011年の7月から9月までの3ヵ月間で、日本の株式市場は9.4%下落しました。この間、日本のダイナミック・インデックスが14.2%下落したのに対し、ディフェンシブ・インデックスの下落は1.5%にとどまりました。市場のボラティリティが歴史的に高くなっている昨今の環境下、ディフェンシブ・インデックスのリターンが示す防備的なスタイルの投資収益に妙味を感じる投資家も多いのではないのでしょうか」と述べました。

実際、この新たなラッセル・グローバル・スタビリティ・インデックス・シリーズの過去の収益率の調査分析から、ラッセルは、ディフェンシブ・インデックスが、過去 15 年間にわたって、より高いリターンと低いボラティリティを実現しており、また、これまでの期間、相場の下落を和らげることに大きく成功していることを明らかにしています。一方、同調査では、ダイナミック・インデックスが景気拡大期および、市場上昇期に、市場全体よりも優れたパフォーマンスを示していることも明らかにしています。

ラッセル・グローバル・ディフェンシブ／ダイナミック・インデックスはラッセル・スタビリティ・インデックス・シリーズの一部です。ラッセル・スタビリティ・インデックス・シリーズについて、より詳細な情報は当社ウェブサイト <http://www.russell.com/indexes/data/stability/russell-stability-indexes.asp> (英語) をご参照ください。

(別添:ご参考資料)

ラッセル・スタビリティ・インデックスで見た 2011 年 7-9 月期の世界株式市場のパフォーマンス

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 35 カ国以上^{*1}において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 11 兆円^{*2}となっています。

ラッセルは、1984 年に Russell 1000®、Russell 2000®などをはじめとする米国株式インデックス・シリーズを開発しました。ラッセル米国株式インデックスは、投資可能な株式ユニバースを反映した初の浮動株修正済みインデックスで、米国機関投資家向けの運用商品の半分以上がラッセル米国株インデックスをベンチマークとしており、その資産総額は約 3.9 兆米ドル^{*3}に上ります。その後も様々な規模やスタイル別インデックスを開発し 2007 年には世界の投資可能な株式市場の上位 98%をカバーしたラッセル・グローバル株インデックスを発表しました。

グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは <http://www.russell.com/jp/globalindex.asp> をご覧ください。
(※1,3 2010 年 12 月末現在、※2 2011 年 9 月末現在、グループ合算)

ラッセルのインデックスは運用商品ではなく、また直接投資することはできません。実際のインデックスの発表日までの過去の収益履歴は、同一の手法を用いて計算されています。しかし、データ源、コーポレート・アクション、一部銘柄のヒストリカル・データの有無により、過去のパフォーマンスの計算結果は変わる可能性があります。詳細は、ラッセル・インデックス部門のクライアント・サービス担当までご連絡ください。

Copyright ©2011. Russell Investments. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメントグループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。

###

ラッセル・スタビリティ・インデックスで見た 2011年7-9月期の世界株式市場のパフォーマンス

(円建て、単位:%)

地域	市場全体	ディフェンシブ・インデックス	ダイナミック・インデックス
グローバル	-21.7	-16.7	-26.8
日本	-9.4	-1.5	-14.2
先進国 (除く日本)	-22.1	-17.0	-27.9
新興国	-25.8	-21.2	-28.8
APAC先進国 (除く日本)	-23.4	-21.9	-26.3
欧州先進国	-26.6	-20.7	-34.3
北米	-19.5	-14.1	-25.1
アジア新興国	-25.0	-17.5	-28.5
欧州圏新興国	-26.6	-24.9	-28.7
中南米	-27.5	-24.2	-29.8